

5月15日 ふれあいホーム上郷で誕生会

## 上郷町の駒込マツエさん100歳

駒込マツエさんの誕生会が同所で行われ、菊池孝二副市長が花束などを贈呈。マツエさんは、「ありがとうございます」とほほ笑みました。マツエさんは、大正4年に上郷町に生まれ、19歳で豊治さん(故人)と結婚。農業などに励み、5男3女を育て上げました。現在は、ひ孫24人にも恵まれ元気に過ごしています。



ひ孫の桜佳ちゃんとうろそくを吹き消すマツエさん

5月12日 家族らに祝福され、にっこり笑顔。

## 青笹町の畑山キワさん100歳

畑山キワさんの誕生会が自宅で開かれました。本田市長が花束と記念品を贈呈すると、キワさんは「長生きできたのは家族の支えのおかげ」と感謝しました。大正4年に青笹町に生まれ、23歳頃に清吾さん(故人)と結婚。農業に励み、1男1女を育て上げました。現在は、自宅で穏やかに過ごしています。



本田市長から祝福を受けるキワさん

5月28日 みらい創りカレッジで田植え体験

## 土淵小の児童が田植えに挑戦

土淵小3年の児童20人が田植えに挑戦しました。田植え体験を通じて、子どもたちに米作りの楽しさを体感してもらおうと、同カレッジが主催し、農業組合法人遠野こがらせ農産が協力。留場隆成君は「しっかりと植えることができ、楽しかったです」と汗をぬぐいました。秋には稲刈りにも挑戦する予定です。



地域の人に教わりながら苗を懸命に植えました

5月18日 三陸文化復興プロジェクト「文化財レスキュー」

## 大槌町の資料が4年ぶりに帰郷

被災した大槌町立図書館の郷土資料1,034点の修復が完了し、同館に返還されました。修復には、遠野文化研究センターの職員や復興ボランティアら1,765人が参加。洗浄や乾燥を繰り返し、貴重な資料をよみがえらしました。修復された資料は、同町の小学校に一時保管され再建予定の図書館に収蔵されます。



修復後の資料をバスに詰め込む大槌町職員

5月17日 東日本大震災復興支援JOC「がんばれ!ニッポン!」プロジェクト「オリンピックデー・フェスタ in 遠野」

## 元オリンピック選手が水泳指導



1



4

1\_講師と児童は、水中運動会で交流を深めました 2\_元五輪選手の華麗な泳ぎに見入る児童ら 3\_水泳の基本「蹴伸び」の姿勢を教える講師 4\_最後はハイタッチでお別れ



2



3

五輪に出場経験のある元競泳選手が、市民プールで市内の小学生57人に水泳指導しました。講師は、中村真衣さん(シドニー五輪で銀・銅)、上田春佳さん(ロンドン五輪で銅)、伊藤華英さん(ロンドン五輪で7位)、金田和也さん(同五輪出場)、柴田隆一さん(北京五輪出場)の5人。児童は、水泳の基本である「蹴伸び」の実技指導や、講師らと水中玉入れなどのゲームに取り組みました。小森まどかさん(遠野北小3年)は、「蹴伸びをもっと練習して、オリンピック選手のように速く泳げるようになりたい」と目を輝かせていました。 ※( )は主な経歴

5月3日 遠野さくらまつり「南部氏遠野入部行列」

## 華やかな行列が市内を巡る

春の風物詩「南部氏遠野入部行列」が蔵の道ひろば周辺で行われ、市民300人が参加しました。行列は、約400年前に八戸から遠野へ国替えになった八戸南部氏の様子を再現したもので、今年で17回目。参加者は、国替え当時の衣装を身にまとい、市内を堂々と練り歩きました。本市と交流のある八戸市新田城まつり運営委員10人も参加。沿道では、遠野保育園児による子ども南部ばやしなども披露され、訪れた市民や観光客は悠々と歩く行列の姿に目を奪われていました。山中淳司さん(35)＝東京都＝は「とても華やかで思わず見とれてしまいました。来年もまた訪れてみたいです」と満足した様子でした。



参加者は着物や袴を身にまとい当時を再現!

5月11日 春の「全国交通安全運動」「地域安全運動」出発式

## 地域一丸で安心安全なまちに

市交通安全対策協議会や市防犯協会連合会のメンバーら130人が出席し、啓発活動などへの決意を新たにしました。式では、佐藤義信遠野警察署長らから、新1年生代表の高橋俊平君と田代明香里さん(いずれも遠野北小)に、交通安全・防犯グッズを贈呈。同警察署員による講話なども行われました。



新1年生に交通安全グッズを贈りました

5月12日 遠野駅舎・中心市街地活性化市民シンポジウム

## 駅舎保存に向け市民ら一丸

遠野駅舎の未来を考える会の会員や市民ら220人が出席し、先進事例の講演や討論会を通じて、中心市街地における同駅舎の保存と市街地活性化のあり方を探りました。市内の商工・観光関係者らと交えた討論会では、保存に向けて、市民が真剣に取り組む重要性について、活発に意見が交わられました。



駅舎の保存について意見を交わすパネリスト

5月10日 「第21回ダイワハウス全国少年少女野球教室」

## 元プロ野球選手が熱血指導!



1

同教室は、遠野運動公園野球場で開催され、市内の野球スポーツ少年団員ら150人が参加しました。講師は、屋鋪要さんをはじめとするプロ野球で活躍した7人で、守備や打撃などを、実技を交えながら指導しました。参加者を代表して上郷スポ少のキャプテン、大久保星音君(上郷小6)は「今日学んだことをこれからの練習や試合で生かしていきます」と決意。講師の屋鋪さんは「指導して下さる監督やコーチ、そして家族に感謝の気持ち忘れず、立派な野球選手になってください」とエールを送りました。



2

1\_真剣なまなざしで指導を受ける参加者 2\_一人ひとり丁寧に指導する講師 3\_小学1・2年生の参加者にピッチングの基本を指導! 徐々に上達してきました

